

令和 8 年度 事業計画案

実施項目	施策		事業	番号	区分	実施予定 時期	令和 8 年度 実施計画	進捗状況
1 地域公共交通の整備・運行	地域公共交通の運行		・地域公共交通の運行・見直し	1	新規	4 月～	物価高騰の影響を最小減に抑えつつ、地域公共交通の持続性を高める 一路線あたりの運行経費が増額しており、今後もこうした傾向が継続する 見込みであることから、利用が少なく、費用対効果の低い路線を中心に、 今後の運用を見直していく。	沿線住民等に対するアンケート調査を実施する。 バス路線の再編について、沿線住民への説明会を開催する。
	その他の移動手段の支援		・地域公共交通網を補完する移動手段の創出及び維持に対する支援	2	継続	4 月～	タクシー利用の促進	通院支援タクシー券を配布する。
2 持続性向上	担い手事業者の持続性の向上		・交通事業者との連携協力 ・交通事業者への支援	3	新規	4 月～	①公共交通会議の事業者部会の開催 ドライバーズバンク構想の実現に向けて、運転手不足の課題解消に向けた 取り組みについて協議する。 ②自主運行に対する支援案の検討 地区要望や適性から運行候補となる地区を選定し、自治会との調整を進める。 ③おでかけ相談センターの設置に向けた協議 市内公共交通案内の一元化に向けて、事業者との協議を進める。	①第 1 回事業者部会を開催する。（7 月予定） ②自主運行の事例調査、地域毎の利用状況調査を進める。 ③①事業者部会の中で検討していく。
	車両の更新と整備		・利便性を高める車両の導入 ・ラッピング等のデザイン	4	継続	3 月	車両更新 かみおかぐるりんバス車両、河合宮川乗合タクシー、神岡北部乗合タクシー 納車された新車両にはバスラッピングを施す。	かみおかぐるりんバス：フィーダー補助対象 河合宮川乗合タクシー・神岡北部乗合タクシー：繰越予算にて対応
3 利便性の向上	交通結節点の整備・維持		・交通利用環境の利便性向上（待合所・ベンチなどの設置、バス停の更新等）	5	新規	4 月～	①主要交通結節点である飛騨古川駅の活用検討（観光フィーダー系統） ②飛騨古川駅バス待合所に設置されたデジタルサイネージを発信媒体として活用する。	①新設された観光フィーダー系統補助制度の活用を検討する。 ②デジタルサイネージに表示する情報を充実させる。 デジタルサイネージ増設箇所を検討する。 例）市民病院、市役所、各振興事務所
	企画乗車券の発行		・ひだまる定期券、1 日乗車券、シルバーフリー定期券、回数券等の運用	6	継続	12 月	定期券のデジタル化	株式会社RYDEと調整し、早期に実装する。
	地域公共交通の基本的な情報提供		・バス停や待合等におけるわかりやすい案内掲示	7	新規	3 月	バスロケーションシステムの濃飛バス幹線への導入 国庫補助を活用し、濃飛バス、高山市、飛騨市の 3 者で負担を按分する。 （事業主体は濃飛乗合自動車株式会社）	飛騨市としては令和 8 年度予算に計上済み。
			・総合地域公共交通マップの発行	8	継続	9 月	ダイヤ改正に合わせて時刻表を更新 時刻表を各世帯に配布、公共施設等に設置し、情報発信の拡充を図る。	10 月ダイヤ改正に合わせた路線図・時刻表更新を準備する。
			・地域、属性などの対象者ごとの時刻表発行	9	継続	9 月		
			・市のHP・広報等による情報発信	10	継続	随時	わかりやすい情報発信 HPの更新を速やかに行う。	市営バスに関する情報を随時更新する。
4 利用促進	市民の日中利用の促進	未利用者に対する情報発信	・市の広報、集会等での説明による、地域公共交通の必要性についての意識啓発	11	継続	4 月～	市職員ノーマイカーデーの継続、効果分析 ノーマイカーデーを継続し、地元企業参加を推進する。	市職員対象ノーマイカーデーを継続的に実施する。
			・市民と協働したイベントの開催（バスツアー、セミナー等）	12	継続	随時	市内イベントへの出展を行う。	公共交通の利用促進につながる出展イベントを選定する。
			・免許返納者へのインセンティブの付与	13	新規	4 月～	免許返納者への支援策検討のための調査を進める。	運転免許証返納者へのアンケートの実施する。 いきいき券事業を継続する。
		利用者に対する情報発信	・目的地施設と連携した企画チケット等の検討	14	継続	3 月	観光施設と連携した新たな企画チケットの導入準備を進める。	連携事業者、施設の選定を進める。 例）道の駅アルプ飛騨古川、山之村キャンプ場

実施項目	施策		事業	番号	区分	実施予定 時期	令和８年度 実施計画	進捗状況
４ 利用促進	通学利用の促進		・ 中高生とその保護者に対する説明会の実施	15	新規	１０月	市内中高生への意識啓発、利用促進 ①高校1日入学無料券配布を継続する。 ②地域クラブ活動参加生徒の動向を調査する。	①高校1日入学（10月実施予定）に向けた準備を進める。 ②地域クラブ活動推進室と連携して、調査を進める。
	来訪者に対する地域公共交通情報の提供	初めてでも利用できる情報提供	・ 系統番号・路線番号・カラーリングの導入	16	継続	９月	バス停標柱の管理、更新	10月ダイヤ改正に合わせて、時刻表案内等を更新する。
		観光客向けの情報提供	・ 案内等の多言語化促進	17	継続	３月	外国人向けのバス情報提供	多言語対応情報を充実させる。
			・ 観光客が利用しやすい停留所への改良（名称、設置場所等）	18	継続	３月	観光施設へアクセスしやすい環境整備	バス停名等の見直しを行う。
			・ 観光客向け時刻表・パンフレットの制作	19	継続	３月	公共交通を移動手段とした観光モデルコースの策定	飛騨市観光HPに掲載されているモデルコースを拡充する。
５ 評価・改善	地域公共交通における評価・検証の実施		・ 飛騨市公共交通会議事業者部会の定例化	20	新規	随時	飛騨市公共交通会議事業者部会の開催	令和８年度は２回程度の開催を予定している。 予定）１回目 ７月 ２回目 １１月
			・ 市民アンケート調査、運行状況等の点検等	21	継続	随時	利用調査の継続実施	見直し対象路線の調査を重点的に進める。 市営バスの利用者数、運行状況を定期的に報告する。
			・ 評価・検証事業（乗降調査・利用者アンケート等）	22	継続	随時		
	先進的な手法や技術の導入検討		・ 先進技術に関する情報の収集	23	継続	随時	公共交通セミナーへの参加	国、県主催のセミナー等に積極的に参加する。
			・ 名古屋大学との連携	24	継続	随時	協定に基づく調査研究の推進	地域公共交通コーディネーター・プロジェクター養成講座（ベーシックコース）を受講し、修了する。
			・ 他自治体の好事例の研究	25	継続	随時	他自治体の公共交通会議の視察	運転手不足に関して効果的な取り組みを行っている自治体（地域）の視察を行う。

●令和８年度 路線見直し重点路線

路線名	見直し時期（目標）	見直し方針
①天生線	①②令和８年１０月 ③令和９年４月	①利用状況、アンケートの結果から、廃止向けて路線の再編を行う。 ②天生線の再編に合わせて、利便性を向上させるための改正を行う。 ③利用状況、アンケート調査を実施し、路線の再編を検討していく。
②河合宮川乗合タクシー		
③神岡北部乗合タクシー		